

番 号	課 長	係 長	検 算	設 計	浄 書
-----	-----	-----	-----	-----	-----

令和 2 年度

金抜設計書

工 事 名

東蔵簡易水道配水管布設替工事

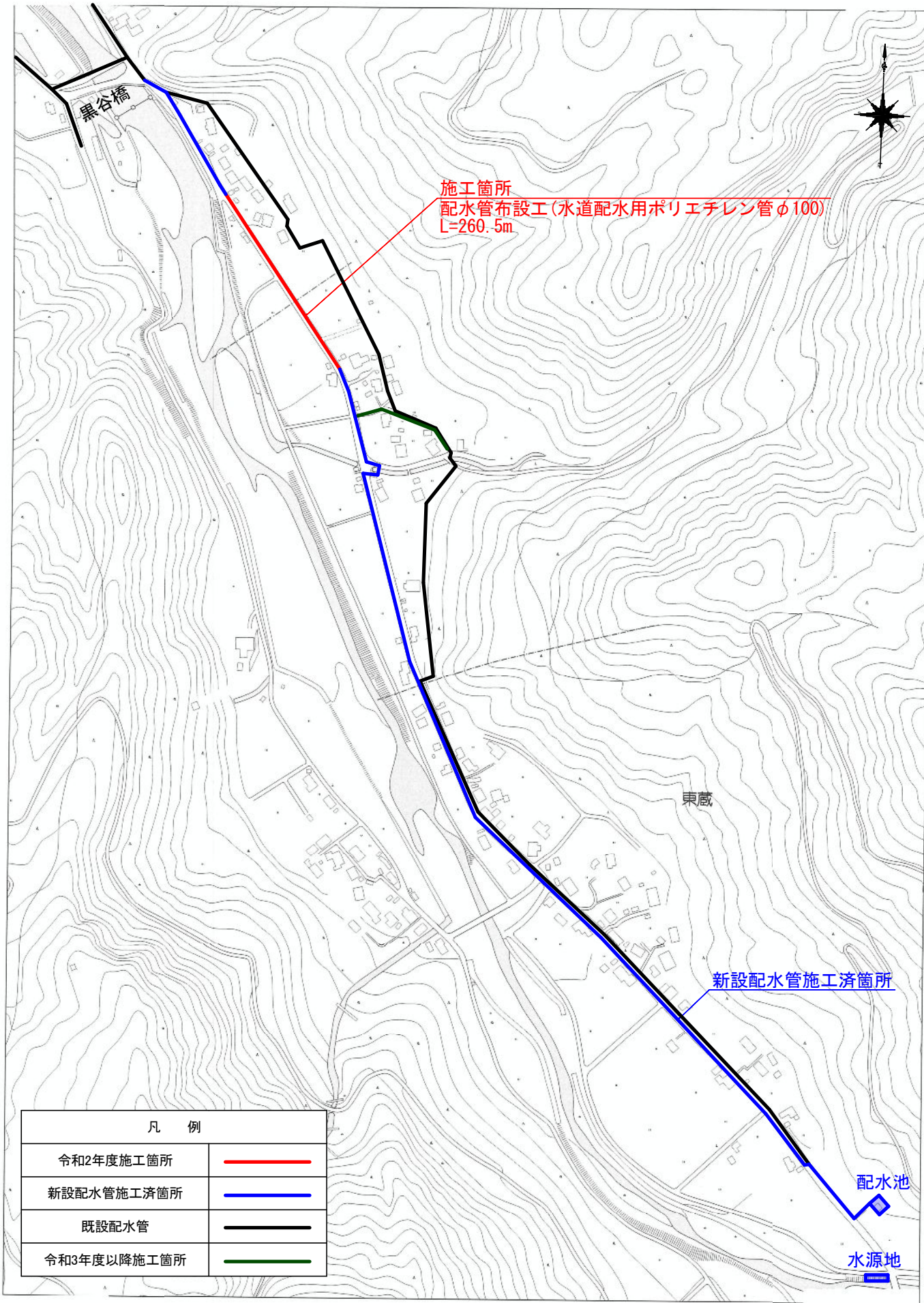
実 施 設 計 図 書

施工場所 魚津市 山女外 地内

魚津市上下水道局上下水道課

工事番号

2027



特記仕様書

東蔵簡易水道配水管布設替工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「水道工事標準仕様書(土木工事編,設備工事編 日本水道協会 2010年版)」、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和元年10月改訂」第1編共通編1-1-1-2第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

第2条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第3条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領(富山県土木部)平成25年8月一部改訂(以下「要領」という。)」により毎月1回(半日)以上の頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について共通仕様書の施工計画書の記載事項として「(9)安全管理」に含め、要領の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、要領の様式-2により安全教育・訓練の実施毎に写真等に撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第4条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ①契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ②工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって工場製作のみが行われる期間

④上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第5条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策を記載した施工計画書を提出するものとする。

第6条 市内業者優先発注等について

本工事に使用する必要な工事資材、建設機械等を購入又は借入する場合は、できる限り市内業者を活用するよう努めるものとする。

第7条 下請け関係の適正化

本工事の一部を下請けさせる場合は、「下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底について（国土交通省土地・建設産業局長通達）（平成23年12月）」を遵守すること。また、下請け業者に発注する場合は、市内企業振興の観点からできる限り市内業者を選定すること。

第8条 工事材料の品質証明資料の提出、段階確認

品質を証明する資料を事前に提出し、監督員の段階確認を受けて使用する材料は下記のとおりとする。なお、JISマーク表示品、富山県コンクリート製品協会認定マーク表示品については、マーク表示状態の写真撮影によることとし、品質証明資料の提出及び段階確認は省略する。

確認対象材料：上記マーク表示品以外の水道材料すべて

第9条 施工機械

1 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（建設大臣官房技術審議官通達）平成14年4月改訂」に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。

機 械	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・ バックホウ ・ トラクタショベル（車輪式） ・ ブルドーザー ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット類 <p>以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ： 油圧ハンマ・パイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機 アースオーガ・オールケーシング掘削機 リバースサーキュレーションドリル・アースドリル 地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機 <ul style="list-style-type: none"> ・ ローラ類 <ul style="list-style-type: none"> ： ロードローラー・タイヤローラー・振動ローラ <ul style="list-style-type: none"> ・ ラフテレーンクレーン 	<p>ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5kw以上260kw以下） を搭載した建設機械を対象とする。</p>

2 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書「（4）指定機械」の中で、①機種、②メーカー名、③型式、④台数等を記載するものとする。また、「指定ラベル」が確認できる工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りではない。

第10条 アスファルト混合物

- 1 本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 受注者は、上記によりがたいときは、監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよいものとする。
- 3 アスファルト混合物を使用するときは、「アスファルト混合物事前審査」制度に基づくものとする。

第11条 鉄筋コンクリート用棒鋼

JIS製品以外のものを使用する場合、ミルシートによる監督員の事前審査が必要なほか「JIS製品と同等以上の品質を有するもの」の保証として、信頼できる試験機関が実施した引張試験及び曲げ試験により確認しなければならない。なお、この試験報告書が添付されていない製品を使用する場合は、信頼できる試験機関に引張試験及び曲げ試験を依頼し、JIS製品と同等以上の品質を有することを確認のうえ使用しなければならない。

第12条 コンクリート配合

使用目的別の配合諸元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	25	60	-	B・B	土間コンクリート
2							
3							

第13条 コンクリートの水セメント比

- 1 コンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下を遵守すること。前述の水セメント比を確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。
- 2 資源の有効利用とコンクリートの耐久性を向上させるため、原則として、高炉セメントの使用を標準とする。
- 3 コンクリートの圧縮強度試験（曲げ強度試験）のうち、初期の一試験は、打設現場で採取したテストピースを標準養生後、信頼できる試験機関に

試験を依頼しなければならない。

第14条 再生材の利用

次表の基礎砕石及び裏込材には再生砕石を使用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。

なお、再生砕石の入手が困難な場合には、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工種	品種	使用箇所
土工	RC-40	路体・路床
舗装工	RC-40	路盤工

第15条 公害対策

残土の搬出等に伴う公道等の汚損については、受注者において清掃補修等を実施し、公害防止に努めるものとする。

第16条 安全対策

1 工事の施工にあたっては交通誘導員を**2名**配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。

なお、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合は、別途協議により変更する。

2 1日の工程終了後、速やかに清掃したのち、交通開放しなければならない。

第17条 建設発生土

本工事の発生土は、公共用建設発生土仮置場（魚津ストックヤード（株）魚津市東山1429 片道運搬距離4.0km以内）へ搬入すること。

第18条 建設リサイクル法の対象建設工事

- 1 本工事は、「建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（平成23年8月改訂）（以下「建設リサイクル法」という。）」の対象工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。

- 2 受注者は、建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み

- 3 本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後にあきらかになった事情により予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

①分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

④	本体構造	本体構造の工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑤	本体付属品	本体付属品の工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑥	その他 ()	その他の工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

②再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化施設の場所	運搬距離
コンクリート塊(無筋)	魚津市坪野 地内	L=10.0km
コンクリート塊(有筋)	地内	L= km
アスファルト・コンクリート塊	魚津市坪野 地内	L=10.0km

※上記②については積算上の明示条件であり、再資源化施設を指定するものではない。

なお、発注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、施設の受入が困難な場合等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

4 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(富山県土木部)(平成14年6月)」に定めた様式1〔再生資源利用促進書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 受注者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類(マニフェスト等)を監督員に提示するとともに、運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

6 再生資源利用促進書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)作成に当たっては、インターネットを利用したWEBオンラインシステム(COBRI S)を使用して書類作成を行うこと。

第19条 舗装切断時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械などにより回収するものとする。回収された排水については、適正に処理するものとし、必要な経費については監督員と協議の上、設計変更の対象とする。

ここで、「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状など）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は、提示しなければならない。

第20条 工事カルテ作成、登録

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時には工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

また、登録機関発行の「工事カルテ受領書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

第21条 個人情報取扱特記事項

受注者は、工事を施工するために個人情報を取り扱うに当たっては、共通仕様書1-1-48に基づき適正に行わなければならない。

第22条 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置

受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

また、下請け業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかにその旨を報告するよう指導し、下請け業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

第23条 ワンデーレスポンスの実施について

- 1 この工事では、「基本的にその日のうちに速やかに回答する」「現場を待たせない」等、現場の問題発生に対する迅速な対応（＝ワンデーレスポンス）の実施により、問題解決の迅速化を図ることとする。ただし、その日のうちに回答が困難な場合は、受注者と発注者が協議のうえ、回答予定日を回答するものとする。
- 2 受注者は、作業間の関連や工事の進捗状況等を把握し、綿密な工程管理に努めるものとする。
- 3 受注者は、工事施工中において協議事項が発生した場合、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督員と協議するものとする。

第24条 工事支障物件

受注者は本工事の施工に先立ち、埋設物等支障物件の事前調査を行い、それらの占用物件に近接する場合は、占用物件管理者と協議し防護措置を講ずること。

- ・ 下水道施設、ケーブル線、横断暗渠等の地下埋設物

第25条 仮設工

管土工は土工定規図、断面図を標準とする。但し、自立性に乏しい地山の場合は施工の安全性を確保するため適切な勾配に仕上げるか土留工を施すものとする。なお土留工は、事故のないよう十分注意をして施工すること。

第26条 仕切弁、消火栓等の仕上がり工

車道部においては、仕切弁、消火栓等の仕上がり現況高より－5mm以内とする。歩道部においては、現況高とする。

第27条 事業損失防止

事業損失のおそれがある場合には、監督員と協議して家屋調査等を実施すること。

第28条 水道工事

- 1 材料使用願いを提出し、材料入荷後速やかに監督員の材料検査を受けるものとする。
- 2 配管業務をはじめ各種作業は、有資格者が指示し安全施工に努めること。
- 3 管布設に当たっては充分管体検査を行い、亀裂その他欠陥のないことを確認し管内の清掃をしてから直線的に布設しなければならない。また、管の接合は工事の生命であるから充分入念に施工すること。
- 4 埋戻は一層の仕上り厚を20cm以下とし、所定の転圧機で十分に締固めること。また上層路盤工は一層の仕上り厚を15cm以下、下層路盤工は15cm以下とし、所定の転圧機で充分につき固めること。

路床部、路体部の埋戻において一層あたりの転圧厚さが20cmを越えないように締固めなければならない。締固め度が90%程度以上に保

たれるよう施工管理すること。そのために、埋め戻しの際は現場密度試験を行うものとする。場所は、監督員が指定する。

- 5 埋設に当たり水道管の真上50cmの位置に標識シートを均平に敷設すること。
- 6 アスファルトの仮復旧工及び本復旧工は、埋戻完了後速やかに施工し、交通の安全を確保しなければならない。
- 7 管布設完了後、水圧テスト（1.0Mpa/10分間維持）により水漏れ等不都合がないことを確認し、監督員に報告しなければならない。
- 8 工事写真は、各測点において管防護砂厚・管土被り・管位置が確認できる写真を撮影し、埋戻の転圧状況と一層毎の施工厚については、1測点（30mに対して）に1箇所の頻度で確認できる写真を撮影し提出すること。なお、配水管の連絡部や異形管接続部については、全て確認できる写真を提出すること。また、段階確認を行う箇所と重複した写真を撮影しないものとする。
- 10 工事終了後、下記図書類を速やかに整理し提出すること。
 - I 出来形管理図は（設計値と出来形値を対比したもの。）仕切り弁、空気弁、消火栓等の設置位置がオフセットで確認出来るものを提出する。
 - II 工事写真帳（着工前・工事中写真・完成写真）を1部提出すること。
- 11 工事完成日より3年以内に漏水等、不都合が生じた場合は、受注者の責任において修補しなければならない。

第29条 守秘義務

- 1 受注者は、工事を施工する上で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。
- 2 受注者は、契約の目的のために必要とする以外は、契約図書及びその他の図書を監督員の承諾なくして、第三者に使用させ又は伝達してはならない。

第30条 工程関係

本工事の作業時間帯は、下記によるものとする。

なお、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

工種	時間帯
配水管布設工	作業開始 8時30分 作業終了 17時00分(後片付け等軽作業は除く)

第 3 1 条 他工事との調整

本工事箇所付近では、富山県新川土木センターの道路改良工事、魚津市上下水道局上下水道課の東蔵簡易水道給水管切替工事が予定されている。関係機関との工程調整を綿密に行うこと。また、予定工期よりも早く工事が完了した場合は、速やかに完成検査をうけること。

第 3 2 条 その他

本仕様書に記載のない事項及び本仕様書に疑義等が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

令和 2 年度 上下水道 局 上下水道課

設 計 書

工 事 名 東 蔵 簡 易 水 道 配 水 管 布 設 替 工 事

施 工 箇 所 魚 津 市 山 女 外 地 内

工 事 価 格 計 金 円 也 (内消費税等相当額 円)

工 事 概 要

- ・ 施工延長 L=260.5m
- ・ 配水管布設工(水道配水用ポリエチレン管 φ 100mm) L=260.5m
- ・ 舗装復旧工 1式

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 魚津市 実施設計書 当初 0 1 実施単価 05 魚津地区 0-02.07.15(0) J 上水道 H21～		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 消費税率 (%)	当 世 代 40 01 開削及び小口径推進工事 01 割増なし 02 臨時低圧電力 11 一般交通影響有り(2) 01 補正なし 10	前 世 代	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
水道工事									Y1A01	
管路材料									Y2A0101	
管路材料(配水管φ100)1号箇所									Y31010101	
調整データ0									#0040	
水道用ポリエチレン管 片受直管 φ100									F1508	0
100mm*5m/本	49			本						
水道用ポリエチレン管 片受直管 φ100									F1508	0
100mm*5m/本	4			本						
EFベンド(片受) φ100 11° 1/4曲管									F1581	0
水道用ポリエチレン管用	1			個						
EFベンド(片受) φ100 22° 1/2曲管									F1575	0
水道用ポリエチレン管用	2			個						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
EFベンド(片受) φ100 45° 曲管									F1569	0
水道用ポリエチレン管用 EF片受Sベンド φ100 600H	4			個					F1590	0
水道用ポリエチレン管用 メカポリPPジョイント φ100	1			個					F10000	0
埋設標識シート 塩ビ管用 W=15cm 50m巻 (アルミ入り)	3			個					F0791	0
	260.5			m						
管路材料<給水管>									Y31010101	
調整データ0									#0040	
サドル分水栓 PEP用 φ100*φ50 JWWA K144 鋳鉄製	3			個					F3168	0
サドル分水栓 PEP用 φ100*φ20 JWWA K144 鋳鉄製	2			個					F3165	0
ユニオンテーパ φ50mm 分水栓接続用 (メータ用ソケット)	3			個					F3244	0

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ユニオンテーパー φ20mm 分水栓接続用 (メータ用ソケット)	2			個					F3240	0
メタリングパッキン φ50 止水栓・分水栓用	3			個					F3721	0
メタリングパッキン φ20 止水栓・分水栓用	4			個					F3717	0
メタリングパッキン φ13 止水栓・分水栓用	2			個					F3716	0
軟質ポリエチレン管 φ50mm 第1種 二層管60.0mm*40m*8.0mm 1.216Kg	18.0			m					F3006	0
軟質ポリエチレン管 φ20mm 第1種 二層管27.0mm*120m*4.0mm 0.269Kg	11.5			m					F3002	0
クイックチューブ φ50 保温材 t=2cm	18.0			m					F3012	0
クイックチューブ φ20 保温材 t=2cm	11.5			m					F3009	0
ユニオンテーパーベント(ロング) φ20*90° 伸縮止水接続用 (分水栓用)	2			個					F3266	0

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
逆止弁付伸縮止水栓 φ20*φ13mm 盗防 開閉防止式(L字キー式)	2			個					F3219	0
テーパエルボ 90° φ50	12			個					F3293	0
テーパ継手 φ50mm 鋼管用	6			個					F3237	0
量水器ボックス φ20 市草入り蓋付 鋳鉄製 中	2			組					F3076	0
埋設用仕切弁 φ50mm 1.0Mpa	3			個					F3230	0
埋設用仕切弁BOX H700~965 ネジ式弁管(一般埋設型) F A K D同等品	3			基					F0764	0
埋設標識シート 塩ビ管用 W=15cm 50m巻(アルミ入り)	16.0			m					F0791	0
布設労務									Y2A0102	
管布設労務(配水管)1号箇所									Y3A010102	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管(融着接合)布設工(φ100m/m) 小運搬含む 機械力吊り込み据付	260.5	m			V0238 0 施工 第0-0001号表
ポリエチレン管(融着接合)継手工(φ100m/m) 1口継手	60	箇所			V0248 0 施工 第0-0002号表
ポリエチレン管継手工(φ100m/m) メカニカル継手	6	箇所			V0253 0 施工 第0-0003号表
ポリエチレン管切断工(φ100m/m)	7	口			V0118 0 施工 第0-0004号表
明示シート工	260.5	m			V0160 0 施工 第0-0005号表
管布設労務〈給水管〉					Y3A010102
PEP分水栓建込工(φ75~100×φ50) 給水管までの接合含む	3	箇所			V3040 0 施工 第0-0006号表
PEP分水栓建込工(φ75~100×φ20) 給水管までの接合含む	2	箇所			V3036 0 施工 第0-0007号表
ポリエチレン管継手工(φ50)	30	口			V3111 0 施工 第0-0008号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ポリエチレン管切断工									V3119	0
	9			口					施工	第0-0009号表
ポリエチレン管布設工(φ50)									V3117	0
小運搬含む	18.0			m					施工	第0-0010号表
ポリエチレン管継手工(φ20)									V3107	0
	4			口					施工	第0-0011号表
ポリエチレン管切断工									V3119	0
	2			口					施工	第0-0009号表
ポリエチレン管布設工(φ20)									V3113	0
小運搬含む	11.5			m					施工	第0-0012号表
鋼管ねじ込み工(φ50)									V3131	0
	6			口					施工	第0-0013号表
鋼管ねじ込み工(φ20)									V3127	0
	4			口					施工	第0-0014号表
量水器取付工(φ20)									V3075	0
量水器据付け・接続(ｼﾞｯﾀﾞ)・筐取付を含む	2			箇所					施工	第0-0015号表
ねじ式弁筐設置工 A形, B形									V0223	0
蓋: 30kg未満 受枠: 30kg以上60kg	3			箇所					施工	第0-0016号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
明示シート工									V0160	0
	16.0		m						施工	第0-0005号表
管路土工									Y2A0101	
配水管土工(1号箇所)									Y3A010102	
バックホウ掘削積込									V2010	0
排対型	148		m ³						施工	第0-0017号表
機械埋戻(砂)									V2019	0
排対型	43		m ³						施工	第0-0018号表
機械埋戻(RC-40)									V2016	0
排対型	38		m ³						施工	第0-0019号表
ダンプトラック運搬									V2031	0
運搬距離(4.5km以下) DID区間なし	20		m ³						施工	第0-0020号表
ダンプトラック運搬									V2031	0
運搬距離(4.5km以下) DID区間なし	129		m ³						施工	第0-0020号表
処分費等									#0044	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
公共用残土仮置場（搬入）									TST04	0
粘性土砂は、受入料金30%増	154		m3							
給水管土工									Y3A010102	
バックホウ掘削積込									V2010	0
排対型										
	21		m3						施工	第0-0017号表
機械埋戻（砂）									V2019	0
排対型										
	3		m3						施工	第0-0018号表
機械埋戻（RC-40）									V2016	0
排対型										
	7		m3						施工	第0-0019号表
ダンプトラック運搬									V2031	0
運搬距離（4.5km以下）										
DID区間なし	21		m3						施工	第0-0020号表
処分費等									#0044	
公共用残土仮置場（搬入）									TST04	0
粘性土砂は、受入料金30%増	26		m3							
付帯工									Y2A0109	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装撤去工（配水管）仮復旧									Y3A010901	
舗装版切断 アスファルト舗装版	399		m						SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
舗装版直接掘削積込 舗装厚0cm超え10cm以下	110		m ²						施工 第0-0021号表 V2039 0	
建設副産物処理工(As・Co塊無筋) 運搬距離（12.5km以下） DID区間なし	6		m ³						施工 第0-0022号表 V2054 0	
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1		式						施工 第0-0023号表 S5099 0 A=1, B=0.05, C=399, E=6.2, F=1, G=1	
処分費等									#0044	
アスファルト廃材処理費	6		m ³						TAK56 0	
As舗装切断排水	0.65		t						TAC01 0	
舗装撤去工（配水管）本復旧									Y3A010901	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断 アスファルト舗装版	10		m						SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
舗装版直接掘削積込 舗装厚0cm超え10cm以下	752		m ²						施工 第0-0021号表 V2039 0	排対型
建設副産物処理工(As・Co塊無筋) 運搬距離(12.5km以下) DID区間なし	31		m ³						施工 第0-0022号表 V2054 0	
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1		式						施工 第0-0023号表 S5099 0 A=1, B=0.05, C=10, E=6.2, F=1, G=1	
処分費等									施工 第0-0025号表 #0044	
アスファルト廃材処理費	31		m ³						TAK56 0	
As舗装切断排水	0.10		t						TAC01 0	
舗装撤去工(給水管)									Y3A010901	
舗装版切断 アスファルト舗装版	39		m						SP4028 0 A=1, B=1, E=1 施工 第0-0021号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	
舗装版直接掘削積込 排対型									V2039	0	
舗装厚0cm超え10cm以下	10		m	2					施工	第0-0022号表	
建設副産物処理工(As・Co塊無筋)									V2054	0	
運搬距離(12.5km以下) DID区間なし	0.4		m	3					施工	第0-0023号表	
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1			式					S5099	0	
									A=1, B=0.05, C=39, E=6.2, F=1, G=1		
処分費等										施工	第0-0026号表
									#0044		
アスファルト廃材処理費									TAK56	0	
	0.4		m	3							
As舗装切断排水									TAC01	0	
	0.05			t							
舗装復旧工(配水管)仮復旧									Y3A010903		
路盤工(人力施工) 路盤厚35cm 車道	109		m	2					S4015	0	
									A=2, B=35, C=5		
									施工	第0-0027号表	
路盤工(人力施工) 路盤厚17cm 車道	109		m	2					S4015	0	
									A=2, B=17, C=4		
									施工	第0-0028号表	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚30mm	109	m2							SP4007 0 A=1, B=30, C=1, D=3, E=1, G=1	施工 第0-0029号表
舗装復旧工(配水管)本復旧									Y3A010903	
不陸整正 補足材料 無し	102	m2							SP4001 0 A=1	施工 第0-0030号表
不陸整正 補足材料 有り	416	m2							SP4001 0 A=2, B=9, C=3	施工 第0-0031号表
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚50mm	517	m2							SP4007 0 A=3, B=50, C=1, D=2, E=5, G=1	施工 第0-0032号表
舗装復旧工(給水管)仮復旧									Y3A010903	
路盤工（人力施工） 路盤厚35cm 車道	4	m2							S4015 0 A=2, B=35, C=5	施工 第0-0027号表
路盤工（人力施工） 路盤厚15cm 車道	3	m2							S4015 0 A=2, B=15, C=5	施工 第0-0033号表
路盤工（人力施工） 路盤厚17cm 車道	4	m2							S4015 0 A=2, B=17, C=4	施工 第0-0028号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚30mm	4		m	2					SP4007 0 A=1, B=30, C=1, D=3, E=1, G=1	
舗装復旧工（給水管）本復旧									施工 第0-0029号表 Y3A010903	
不陸整正 補足材料 無し	2		m	2					SP4001 0 A=1	
不陸整正 補足材料 有り	3		m	2					SP4001 0 A=2, B=9, C=3	
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚50mm	5		m	2					SP4007 0 A=1, B=50, C=1, D=2, E=5, G=1	
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚40mm	6		m	2					SP4007 0 A=1, B=40, C=1, D=2, E=1, G=1	
土間コンクリート復旧	2		箇	所					V2055 0	
区画線工									施工 第0-0036号表 Y3A010903	
区画線工（熔融式・手動） 実線 15cm 材料費のみ	229		m						SS002 0 A=3, B=1, C=1, G=1, H=2, I=1, J=1	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
区画線工（溶融式・手動） 破線 15cm									SS002 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1, G=1, H=2, I=1, J=1	
仮設工	2		m						施工 第0-0044号表 Y2A0109	
交通管理工									Y3A010901	
交通誘導警備員									S7192 0 A=0, B=2, C=17	
直接工事費	1		式						施工 第0-0045号表	
共通仮設費 (率分)										
共通仮設費計				式						
純工事費										
現場管理費										

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費等						
工事価格			式			
消費税相当額			式			
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税相当額計			式			
請負対象工事費計						

施工内訳表

[名称] ポリエチレン管(融着接合)継手工(φ100m/m) [規格1]		[規格2] 1口継手				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
全体割増					+00			
単位当り	1	箇所						

施工内訳表

[名称] ポリエチレン管継手工(φ100m/m) [規格1]		[規格2] メカニカル継手				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
単位当り	1	箇所						

V0118

施工内訳表

施工 第0-0004号表

頁0-0020

[名称] ポリエチレン管切断工(φ100m/m) [規格1]		[規格2]				1	口	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
単位当り	1	口						

V3040

施工内訳表

施工 第0-0006号表

頁0-0022

[名称] PEP分水栓建込工(φ75~100×φ50) [規格1]		[規格2] 給水管までの接合含む				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
単位当り	1	箇所						

施工内訳表

[名称] PEP分水栓建込工(φ75~100×φ20) [規格1]		[規格2] 給水管までの接合含む				1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
単位当り	1	箇所						

施工内訳表

[名称] 鋼管ねじ込み工(φ50) [規格1]		[規格2]				2	口	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
合計	2	口						
単位当り	1	口						

施工内訳表

[名称] 鋼管ねじ込み工(φ20) [規格1]		[規格2]				2	口	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#01			
合計	2	口						
単位当り	1	口						

施工内訳表

[名称] バックホウ掘削積込 [規格1]		排対型	[規格2]			100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006			
バックホウ運転 (機-1)	1次基準排対	時間			S1320			
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						

施工内訳表

[名称] 機械埋戻 (砂) [規格1]		排対型	[規格2]		100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考	
土木一般世話役 一般施工		人			R2008		
普通作業員		人			R2006		
バックホウ運転 (機-1)	1次基準排対	時間			S1320		
タンバ運転 (機-8)		日			S1232		
砂 (細目・荒目)	126	m3			T4041		
合計	100	m3					
単位当り	1	m3					

施工内訳表

[名称] 機械埋戻 (RC-40) [規格1]		排対型	[規格2]			100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006			
バックホウ運転 (機-1)	1次基準排対	時間			S1320			
タンバ運転 (機-8)		日			S1232			
再生砕石 RC-40	126	m3			T4090			
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0021号表

[名称] 舗装版切断		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 6.42%		労務構成比: 53.37%		材料構成比: 40.21%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 547.25
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	コンクリートカッタ	4.34%			コンクリートカッタ		M2002	
	その他(機械)				その他(機械)		EK009	
	特殊作業員	18.48%			特殊作業員 東京単価		R2005	
	土木一般世話役 一般施工	9.59%			土木一般世話役 東京単価		R2008	
	普通作業員	8.00%			普通作業員 東京単価		R2006	
	その他(労務)				その他(労務)		ER009	
	ダイヤモンドブレード 径56cm	37.36%			コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ		T3663	
	ガソリン JIS2号レギュラ	1.93%			ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004	
	その他(材料)				その他(材料)		EZ009	
	積算単価				積算単価		EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	15cm以下			
E=1	全ての費用							

S4015

施工内訳表

施工 第0-0027号表

頁0-0043

[名称] 路盤工 (人力施工)				100		m2		当り	
[規格1] 路盤厚35cm				[規格2] 車道					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考			
普通作業員		人			R2006				
再生砕石 RC-40	44.45	m3			T4090				
タンパ運転 (機-23)		日			S1235				
諸雑費	1	式			#90				
合計	100	m2							
単位当り	1	m2							
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40			B=35 仕上り厚 (cm)						

S4015

施工内訳表

施工 第0-0028号表

頁0-0044

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚17cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
粒調碎石 M40	21.59	m3			T4051	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 C=4	車道 粒調碎石 M-40		B=17	仕上り厚 (cm)		

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0029号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚30mm		[規格2]	
機械構成比: 0.50%		労務構成比: 42.14%		材料構成比: 57.36%	
				市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
					標準単価: 2,222.7
					備考
振動ローラ(舗装用)	0.32%			振動ローラ(舗装用)	M3042
振動コンパクト(前進型)	0.16%			振動コンパクト(前進型)	M1071
その他(機械)				その他(機械)	EK009
特殊作業員	20.87%			特殊作業員 東京単価	R2005
普通作業員	14.54%			普通作業員 東京単価	R2006
土木一般世話役 一般施工	4.35%			土木一般世話役 東京単価	R2008
その他(労務)				その他(労務)	ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13FA	57.19%			アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上がり厚 50mm	T3922
ガソリン JIS2号レギュラ	0.13%			ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド	T3004
軽油 (パトロール)	0.03%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油	T3002
その他(材料)				その他(材料)	EZ009

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0029号表

[名称] 表層(車道・路肩部)			[規格1] 1層当り平均仕上り厚30mm			[規格2]								
機械構成比: 0.50%			労務構成比: 42.14%			材料構成比: 57.36%			市場単価構成比: 0.00%			標準単価: 2,222.7		
代表機労材規格				構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)				単価(東京地区)	備考			
積算単価						積算単価					EP001			
A=1	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)				B=30	1層当り平均仕上り厚(mm)								
C=1	密粒度アスファルト混合物				D=3	瀝青材料 無し								
E=1	密粒度 AC 13FA				G=1	全ての費用								

施工内訳表

SP4001

施工 第0-0030号表

[名称] 不陸整正		[規格1] 補足材料 無し		[規格2]		
機械構成比: 26.79%		労務構成比: 66.41%		材料構成比: 6.80%		
				市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ	13.21%			モータグレーダ		MHH601
マカダムローラ	10.24%			マカダムローラ		MHH705
タイヤローラ賃料	3.34%			タイヤローラ 東京単価 質量8~20t		T7390
特殊運転手	41.90%			運転手(特殊) 東京単価		R2002
特殊作業員	12.91%			特殊作業員 東京単価		R2005
普通作業員	9.36%			普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	2.24%			土木一般世話役 東京単価		R2008
軽油 (パトロール)	6.80%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価				積算単価		EP001
A=1 補足材料 無し						

施工内訳表

SP4001

施工 第0-0031号表

[名称] 不陸整正		[規格1] 補足材料 有り		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 18.53%		労務構成比: 45.96%		材料構成比: 35.51%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 155.83
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
モータ	グレーダ	9.14%		モータ	グレーダ		MHH601	
マカダム	ローラ	7.08%		マカダム	ローラ		MHH705	
タイヤ	ローラ賃料	2.31%		タイヤ	ローラ 東京単価 質量8~20t		T7390	
特殊	運転手	29.00%		特殊	運転手(特殊) 東京単価		R2002	
特殊	作業員	8.93%		特殊	作業員 東京単価		R2005	
普通	作業員	6.48%		普通	作業員 東京単価		R2006	
土木	一般世話役 一般施工	1.55%		土木	一般世話役 東京単価		R2008	
粒調	碎石 M30	30.81%		再生	クラッシャー 東京単価 RC-40		T4050	
軽油	(パトロール)	4.70%		軽油	東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002	
積算	単価			積算	単価		EP001	
A=2	補足材料 有り			B=9	29mm以上34mm未満			
C=3	粒度調整碎石 M-30							

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0032号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格2]	
機械構成比: 1.80%		労務構成比: 13.37%		材料構成比: 84.83%	
				市場単価構成比: 0.00%	
代表機 労材規格		構成比	単 価	代表機 労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
					備 考
アスファルトフィニッシュ賃料 [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		1.20%		アスファルトフィニッシュ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m	T7248
振動ローラ賃料		0.25%		振動ローラ(舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	T7284
タイヤローラ賃料 3~4t		0.22%		タイヤローラ 東京単価 質量3~4t	T7389
その他(機械)				その他(機械)	EK009
普通作業員		4.75%		普通作業員 東京単価	R2006
特殊作業員		3.27%		特殊作業員 東京単価	R2005
特殊運転手		3.22%		運転手(特殊) 東京単価	R2002
土木一般世話役 一般施工		1.14%		土木一般世話役 東京単価	R2008
その他(労務)				その他(労務)	ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 20FA		77.78%		アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上がり厚 50mm	T3926
アスファルト乳剤 PK-3		6.82%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用	T3019

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0032号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		1	m2	当り	
[規格1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格2]			
機械構成比: 1.80%		労務構成比: 13.37%	材料構成比: 84.83%	市場単価構成比: 0.00%	
標準単価:		1,634			
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 (パトロール)	0.22%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=5	1.4m以上3.0m以下 密粒度アスファルト混合物 密粒度 AC 20FA		B=50 D=2 G=1	1層当り平均仕上り厚 (mm) プライムコート PK-3 全ての費用	

S4015

施工内訳表

施工 第0-0033号表

頁0-0051

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚15cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
再生砕石 RC-40	19.05	m3			T4090	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40			B=15 仕上り厚 (cm)			

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0034号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格2]		
機械構成比: 0.51%		労務構成比: 42.49%		材料構成比: 57.00%		
				市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用)	0.30%			振動ローラ(舗装用)		M3042
振動コンパクタ(前進型)	0.14%			振動コンパクタ(前進型)		M1071
その他(機械)				その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%			特殊作業員 東京単価		R2005
普通作業員	13.28%			普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	3.97%			土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)				その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 20FA	52.25%			アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上がり厚 50mm		T3926
アスファルト乳剤 PK-3	4.58%			アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019
ガソリン JIS2号レギュラ	0.12%			ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004
軽油 (パトロール)	0.03%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0035号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚40mm		[規格2]		
機械構成比: 0.51%		労務構成比: 42.49%		材料構成比: 57.00%		
				市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用)	0.30%			振動ローラ(舗装用)		M3042
振動コンパクト(前進型)	0.14%			振動コンパクト(前進型)		M1071
その他(機械)				その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%			特殊作業員 東京単価		R2005
普通作業員	13.28%			普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	3.97%			土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)				その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13FA	52.25%			アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上がり厚 50mm		T3922
アスファルト乳剤 PK-3	4.58%			アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019
ガソリン JIS2号レギュラ	0.12%			ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004
軽油 (パトロール)	0.03%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002

施工内訳表

[名称] 土間コンクリート復旧 [規格1]		[規格2]			1	箇所 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.044	m3			SP2082	施工 第0-0037号表
コンクリートはけ引き仕上げ工	0.44	m2			S6412	施工 第0-0038号表
構造物とりこわし・運搬 ダンプトラック	0.044	m3			SS094	施工 第0-0039号表
建設副産物処理工(As・Co塊無筋) 運搬距離(10.0km以下)	0.044	m3			V2048 DID区間なし	施工 第0-0042号表
コンクリート廃材処理費	0.044	m3			TCM56	
単位当り	1	箇所				

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0037号表

[名称] コンクリート		[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 人力打設		1	m3	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 31.82%		材料構成比: 68.18%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 21,821
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
普通作業員		14.90%		普通作業員	東京単価		R2006	
特殊作業員		8.39%		特殊作業員	東京単価		R2005	
土木一般世話役 一般施工		6.32%		土木一般世話役	東京単価		R2008	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
生コンクリート 高炉18-8-25 W/C≤60%		68.18%		生コンクリート	東京単価 高炉 18-12-25(20) W/C 55%		TC003	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=6 高炉18-8-25 W/C≤60% G=2 現場内小運搬 無し				B=4 人力打設 E=2 一般養生 L=1 生コン小型車割増なし				

施工内訳表

[名称] 構造物とりこわし・運搬 [規格1] ダンプトラック		[規格2]		1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
構造物とりこわし工(機械) 無筋構造物	1.00	m3			SS090 単価×割増係数	施工 第0-0040号表
殻運搬 コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込	1.00	m3			SP2081	施工 第0-0041号表
単位当り	1	m3				
A=7.2 片道運搬距離(km) C=1 無筋構造物 E=1 時間的制約無し G=1 対策不要			B=1 D=1 F=1		D I D 区間なし 機械施工 標準(昼間)	

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0041号表

[名称] 殻運搬		[規格1] コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし		[規格2] 人力積込	
機械構成比: 20.84%		労務構成比: 70.18%		材料構成比: 8.98%	
				市場単価構成比: 0.00%	
代表機 労 材 規 格		構成比	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)	標準単価: 5,252.1
				単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック		20.84%		ダンプトラック	M1021
一般運転手		70.18%		運転手(一般) 東京単価	R2015
軽油 (パトロール)		8.98%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油	T3002
積算単価				積算単価	EP001
A=1 C=1	コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間 無し			B=2 D=18	人力積込 8.5km以下

施工内訳表

[名称] 建設副産物処理工(As・Co塊無筋) [規格1]		[規格2] 運搬距離 (10.0km以下)				10	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032			
合計	10	m3						
単位当り	1	m3						

施工内訳表

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)		[規格1] 実線 15cm		[規格2] 材料費のみ		1000	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704			
ガラスビーズ JISR 3301 1号	25.00	kg			T3691			
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692			
軽油 (パトロール)		L			T3002			
諸雑費		%			#01			
合計	1,000	m						
単位当り	1	m						
A=3 材料費のみ C=1 15cm H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			B=1 実線 G=1 白色 I=1 排水性舗装以外					

施工内訳表

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)				1000 m 当り	
[規格1] 破線 15cm				[規格2]	
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置[溶融式][供用区間] 破線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL413
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704
ガラスビーズ JISR 3301 1号	25.00	kg			T3691
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692
軽油 (パトロール)		L			T3002
諸雑費		%			#01
合計	1,000	m			
単位当り	1	m			
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準 (昼間)			B=2 破線 D=1 時間的制約無し G=1 白色		
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外		

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
2	K2542	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
3	K2545	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
4	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
5	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
6	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
7	M1331	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
8	M1450	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
9	MH108	190			バックホウ	掘削積込機損料
10	MH108	190			バックホウ	掘削積込機損料
11	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
12	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
13	R2006	12			普通作業員	普通作業員
14	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
15	R2015	19			一般運転手	一般運転手
16	R2034	32			配管工	配管工
17	R2038	31			左官	左官工
18	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
19	T3002	66			軽油	軽油
20	T3004	65			ガソリン	ガソリン
21	T3691	61		5.775	ガラスビーズ	区画線材料
22	T3692	61		5.775	プライマー	区画線材料
23	T4041	50		57.96	砂	砂
24	T4051	53		24.3967	粒調碎石	粒度調整碎石
25	T4090	52		107.5	再生碎石	クラッシュラン
26	TAC01	189		0.8	As舗装切断排水	投棄料
27	TAK56	189		37.4	アスファルト廃材処理費	投棄料
28	TCM56	189		0.088	コンクリート廃材処理費	投棄料
29	TL413	200		2	区画線設置[熔融式][供用区間]	
30	TL782	200		0.088	構造物とりこわし工(無筋構造物)	
31	TST04	189		180	公共用残土仮置場(搬入)	投棄料
32	WXXXX	966				

全体数量計算書					
				1	式 当り
工 種	細 別	数量計算	単位	数量	
【配水管材料】					
1号箇所		県道三箇吉島線			
水道配水用 ポリエチレン管	φ100 EF受口付片受直管	49	本	49	
水道配水用 ポリエチレン管	φ100EF受口付片受直管 切管調書	4	本	4	
EF片受バンド	φ100, 11° 1/4	1	個	1	
EF片受バンド	φ100, 22° 1/2	2	個	2	
EF片受バンド	φ100, 45°	4	個	4	
EF片受Sバンド	φ100×600H	1	個	1	
メカポリPPジョイント	φ100	3	個	3	
埋設表示シート	塩ビ管・HPPE管用	260.5	m	260.5	
【給水管材料】					
サドル分水栓	PEP用 φ100*50	3	個	3	
サドル分水栓	PEP用 φ100*20	2	個	2	
ユニオンテーパ	φ50	3	個	3	
ユニオンテーパ	φ20	2	個	2	
メタリングパッキン	φ50	3	個	3	
メタリングパッキン	φ20	4	個	4	
メタリングパッキン	φ13	2	個	2	
軟質ポリエチレン管	φ50	18.0	m	18.0	
軟質ポリエチレン管	φ20	11.5	m	11.5	
クイックチューブ	φ50	18.0	m	18.0	
クイックチューブ	φ20	11.5	m	11.5	
ユニオンテーパバンド ロング	φ20*90°	2	個	2	
逆止弁付伸縮止水栓	φ20-13	2	個	2	
テーパエルボ	φ50	4*3	個	12	
テーパ継手	φ50	2*3	個	6	
メーターBOX	鋳鉄製	2	個	2	
埋設仕切弁	φ50	3	個	3	
埋設用仕切弁BOX	(FAKD同等品)	3	基	3	
埋設表示シート	水道配水ポリエチレン管用 W=15cm	7+9	m	16.0	

全体数量計算書

1 式 当り

工 種	細 別	数量計算	単位	数量
【配水管土工】 1号箇所				
機械掘削・積込	PEP φ 100	148	m ³	148
管防護砂		43	m ³	43
埋戻(RC-40)		38	m ³	38
残土運搬・処理	県の土砂仮置き場へ	19.50	m ³	20
残土運搬・処理	地山→ほぐし	128.50	m ³	129
残土運搬・処理	地山→ほぐし	154.20 =128.5*1.2	m ³	154
【給水管土工】				
機械掘削・積込	PP φ 20、φ 50	21.4	m ³	21
管防護砂		3.3	m ³	3
埋戻(RC-40)		6.6	m ³	7
残土運搬		21.40	m ³	21
残土処理	地山→ほぐし	25.68 =21.4*1.2	m ³	26
【舗装撤去工(配水管)】 仮復旧				
舗装版切断工		399.4	m	399
舗装版直接掘削・積込		109.8	m ²	109
運搬及び処分		5.5	m ³	5.5
舗装切断排水運搬費		1	式	1
As舗装切断排水		0.50*1.3	t	0.65
【舗装撤去工(配水管)】 本復旧				
舗装版切断工		10	m	10
舗装版直接掘削・積込		337.16+415.58	m ²	752
運搬及び処分		30.89	m ³	30.9
舗装切断排水運搬費		1	式	1
As舗装切断排水		0.08*1.3	t	0.10
【舗装撤去工(給水管)】				
舗装版切断工		38.6	m	38.6
舗装版直接掘削・積込		4+6	m ²	10.0
運搬及び処分		0.44	m ³	0.4
舗装切断排水運搬費		1	式	1.0
As舗装切断排水		0.04*1.3	t	0.05

	左右	番号	水栓番号	メーター番号	サドル分水栓	ユニオンテーパ(φ20)	軟質ポリエチレン管(φ20)	ユニオンロングバンド	ベストトップバルブ		メータBOX	メタリングパッキン		埋設表示シート	開閉	土間コンクリート
							クイックチューブ(φ20)	φ20×90°	φ20*13	φ20	φ20用	φ20	φ13			
ヤマザワ 山澤 忠秀	右	1	22115	26-1285	1個	1個	5.0m	1個	1個		1個	2個	1個	2.0m	開	復旧有
ミナミ 南 めい	左	2	22113	26-1282	1個	1個	6.5m	1個	1個		1個	2個	1個	5.0m	開	復旧有
合計	左	1箇所			2個	2個	11.5m	2個	2個	0個	2個	4個	2個	7.0m	復旧有	2箇所
	右	1箇所													復旧無	0箇所

			サドル分水栓	ユニオン テーパ	メタリングパッキン	埋設用仕切弁 及びBOX	クイックチューブ(φ50)	軟質ポリエチレン管(φ50)	テーパ継手	テーパエルボ		埋設表示シート	舗装復旧
			φ100×φ50	(φ50)		埋設仕切弁	φ50用	φ50	φ50	φ50×90°			
1			1	1	1	1	6.0	6.0	2	4		3.0	復旧有
2			1	1	1	1	6.0	6.0	2	4		3.0	復旧有
3			1	1	1	1	6.0	6.0	2	4		3.0	復旧有
合計			3個	3個	3個	3個	18.0m	18.0m	6個	12個	0個	9.0m	3箇所

PEP分水栓取付工(φ100-φ20)2箇所、DIP分水栓取付工(φ100-φ50)3箇所、

ポリエチレン管接合工φ20 2箇所×2=4箇所、ポリエチレン管接合工φ50 2箇所×3+8箇所(エルボ部)×3=30箇所

ポリエチレン管切断工 φ20 1×2=2箇所、ポリエチレン管切断工 φ50 3×3=9箇所

鋼管ネジ込み工 φ20 2*2=4箇所、φ50 2*3=6箇所

ボックス設置工 2箇所

ポリエチレン管布設工(φ20)L=11.5m、ポリエチレン管布設工(φ50)L=18.0m

管明示シート工 L=7.0+9.0=16.0m

管 渠 数 量 計 算 書

管路番号	番号	管種 1:青ポリ 0:ポリ	管径 mm	区間距離 m	掘削深 m	平均掘削深 m	平均掘削幅 m	掘削		基礎		埋戻			残土 m ³	床均し m ²	管布設延長		土留種別	舗装種別	バックホウ種別 m ³ 級	備考			
								掘削深 m	予掘	土留内	砂 m ³	碎石 m ³	深さ m	流用土 m ³			切込碎石 m ³	控除 m					延長 m		
									土量 m ³	土量 m ³														上段:VI管	下段:VII管
																								土量 m ³	土量 m ³
1号箇所 単独路線	NO.-6-4.7				1.22												4.70								
	NO.-6	青ポリ	100	4.70	1.22	1.22	0.55	1.17	3.02	0.78		0.35		0.89	3.02				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.-6				1.22												20.00								
	NO.-5	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.-5				1.22												20.00								
	NO.-4	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.-4				1.22												20.00								
	NO.-3	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.-3				1.22												20.00								
	NO.-2	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.-2				1.22												20.00								
	NO.-1	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.-1				1.22												20.00								
	NO.0	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.0				1.22												20.00								
	NO.1	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.1				1.22												20.00								
	NO.2	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.2				1.22												20.00								
	NO.3	青ポリ	100	20.00	1.22	1.22	0.55	1.17	12.87	3.32		0.35		3.80	12.87				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 単独路線	NO.3				1.22												15.00								
	NO.3+15.00	青ポリ	100	15.00	1.22	1.22	0.55	1.17	9.65	2.49		0.35		2.85	9.65				県道A	0.35	碎石埋戻				
1号箇所 同時施工	NO.3+15.00 No.6+15.8	青ポリ	100	60.80	0.32	0.32	0.55	0.32	19.46	10.00			(仮置き場へ) 19.46				60.80			県道A	0.35	碎石埋戻			
合計				260.50					147.96	43.15			19.46	37.94	128.50		260.50								

舗装数量計算書（本復旧）

県道三箇吉島線

番号	舗装種類	延長 m	県道A									県道B									舗装切断 m	舗装版掘削			舗装残土 m ³	摘要	
			表層工 (t=5cm)			不陸整正 (仮復旧部)			不陸整正			表層工 (t=10cm)			不陸整正 (仮復旧部)			不陸整正				t=3cm	t=5cm	t=10cm			
			幅	平均	面積	幅	平均	面積	幅	平均	面積	幅	平均	面積	幅	平均	面積	幅	平均	面積		m	m ²	m ²			m ²
			m	m	m ²	m	m	m ²	m	m	m ²	m	m	m ²	m	m	m ²	m	m	m ²		m	m ²	m ²			m ²
No. -6-4.7	2 県道A	4.70	2.80	2.80	13.16	0.55	0.55	2.59	2.25	2.25	10.58								5.00	13.16	10.58		0.92				
No. -6			2.80			0.55			2.25																		
No. -5	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										11.00	45.00		2.58			
No. -5			2.80			0.55			2.25																		
No. -4	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										56.00	45.00		3.93			
No. -4			2.80			0.55			2.25																		
No. -3	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										56.00	45.00		3.93			
No. -3			2.80			0.55			2.25																		
No. -2	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										56.00	45.00		3.93			
No. -2			2.80			0.55			2.25																		
No. -1	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										11.00	45.00		2.58			
No. -1			2.80			0.55			2.25																		
No. 0	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										56.00	45.00		3.93			
No. 0			2.80			0.55			2.25																		
No. 1	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										56.00	45.00		3.93			
No. 1			2.80			0.55			2.25																		
No. 2	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00										11.00	45.00		2.58			
No. 2			2.80			0.55			2.25																		
No. 3	2 県道A	20.00	2.80	2.80	56.00	0.55	0.55	11.00	2.25	2.25	45.00								5.00	11.00	45.00		2.58				
No. 3			2.80			0.55			2.25																		
合計		184.70			517.16			101.59			415.58								10.00	337.16	415.58		30.89				